



若宮公園道路開通

加茂山公園・若宮公園・下条川ダム の周回コースが完成

主な内容

- 若宮公園道路が開通…………… 24
- 第三平成園後期工事が完成…………… 57
- 全日本社会人ボクシング大会開催… 89
- 平成25年の加茂市のできごと…………… 1012
- 平成24年度決算…………… 13
- 税に関する作文・標語…………… 14
- 加茂の風土記「上条新町の町場」… 16

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院をもり立てましょう

「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしく願いたします

若宮公園道路が開通 市街地環状道路完成



十二月一日、若宮公園と下条・長福寺を結ぶ若宮公園道路が開通いたしました。

これで、市街地と下条地区との市街地環状道路が完成し、利便性が向上します。開通した区間は、若宮町二丁目の若宮公園入口から長福寺のゴルフ練習場脇までの千七百七十mです。この道路は公園内道路ですが、車道六m、片側歩道二mの幅員八mです。

この若宮公園道路開通のテープカットに先立ち、産業センターで開通記念式典が行われました。

式典で小池清彦加茂市長は「若宮公園は加茂山公園とつながり、加茂山公園と同規模の公園です。整備されたことで小京都加茂市の自然は守られ、花火の二尺玉もすっかり打ち上げられる場所となりました。加茂山公園、若宮公園、下条川ダムと三つの公園がつながることで自然のたたくまを楽しめる公園となるよう整備を進めていきます。また、この道路により、市街地をめぐる環状道路が初めて完成いたしました。ただこの道路は公園内道路なので自動車の場合は安全に気をつけて利用していただきたい」と式辞を述



産業センターで行われた記念式典

べました。

続いて国土交通大臣政務官中原八一参議院議員が「この道路は自然を生かす道であり、市民の生活、観光に利するものになると思います。市内外を問わず大勢の人たちのレジャースポットとなることを期待します。」と祝辞をいただきました。続いて、泉田裕彦新潟県知事（田宮強志県土木部長代読）、菊田真紀子衆議院議員、金子恵美衆議院議員、金谷國彦県議会議員、安田憲喜市議会議長から祝辞をいただきました。

この後、若宮公園入口に移動し、若宮中学校吹奏楽部が加茂市民歌、



中村八一 国土交通大臣政務官
参議院議員



菊田真紀子 衆議院議員



金子恵美 衆議院議員



田宮強志 新潟県土木部長
(新潟県知事代理)



金谷國彦 県議会議員



安田憲喜 市議会議員



小池清彦 加茂市長

平成 25年	平成 21年	平成 15年	平成 14年	平成 13年	平成 10年	平成 9年	若宮公園道路の開通まで
横断道路完成	場一部供用開始	園路・公園内山林・広 場一部供用開始	園路一部供用開始	園路一部供用開始	都市計画事業認可	都市計画決定	

若宮中学校校歌等を演奏する中、テープカットと若宮地区を代表する四名の小中学生によってくす玉が割られ、開通を祝いました。下条地区でも四名の小中学生がくす玉を割って、若宮公園道路が開通しました。



来賓・地元の皆様といっしょにテープカット



テープカット後の車両パレード



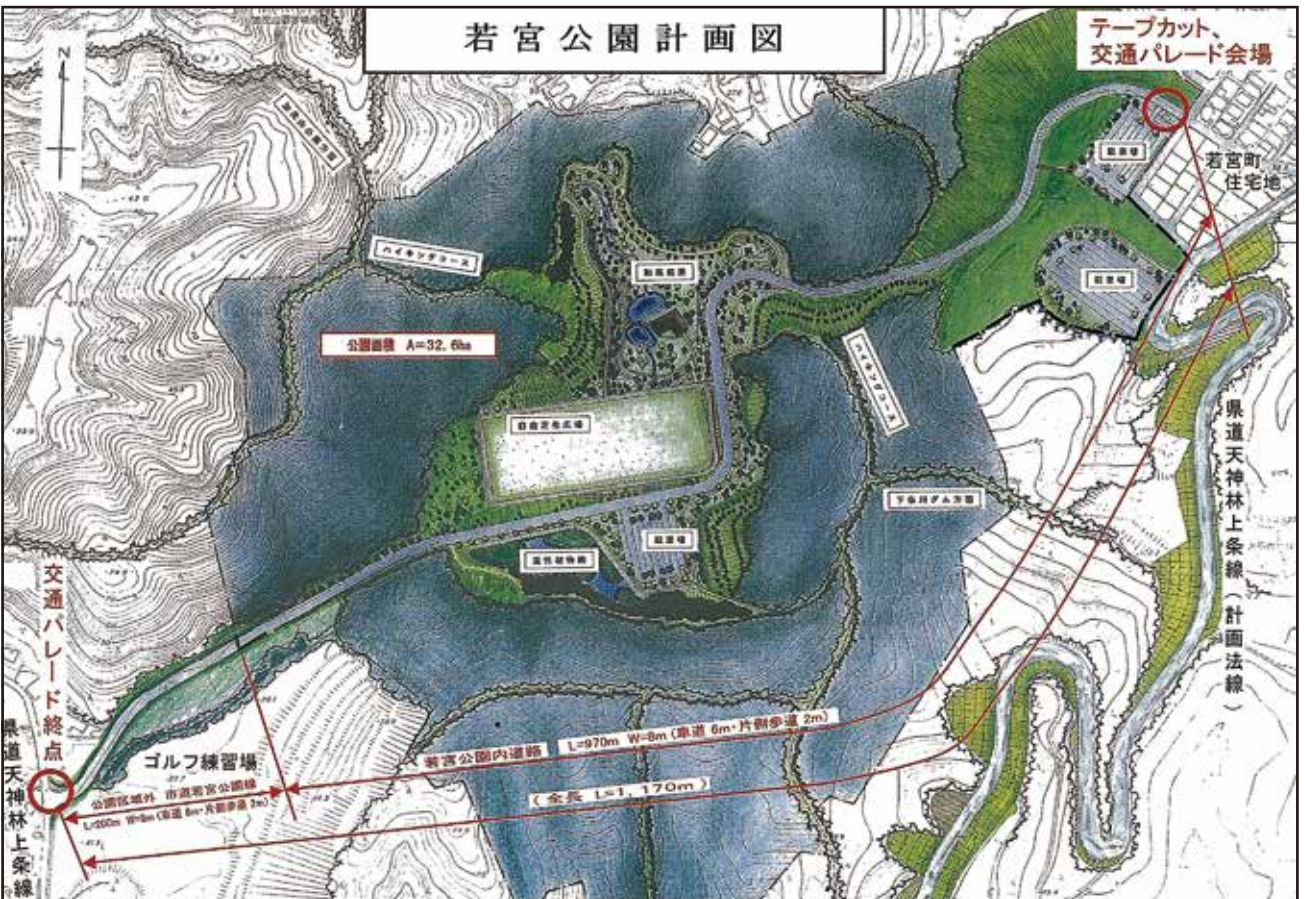
若宮中学校吹奏楽部皆さんが市民歌、若中校歌等を演奏



下条小・葵中の児童・生徒がくす玉割り



公園内広場



第三平成園 後期工事完成 開所式



十二月二十二日、神明町にある特別養護老人ホーム第三平成園で進められていた後期工事が完成し、開所式が行われました。後期工事は、第三平成園に接する山側、温水プール駐車場隣に建てられました。

開所式で、小池清彦加茂市長は「市内では三つの特別養護老人ホームが加茂福祉会により運営されており、このたび第三平成園の後期工事が完了いたしました。すべてが個室です。一方、人口問題研究所によれば、加茂市は六十五歳以上の高齢者が平成三十五年左右にピークになり、七十五歳以上の人口が平成四十五年ころピークを迎えるとのことであります。そうなりますと特別養護老人ホームが百二十〜百三十床、ショートステイを入れると百五十〜百六十床が必要になるという計算になります。このような施設は一度にはつくれないので、徐々につくっていくことになると思います。加茂市の高齢者福祉を充実していくことはもちろんですが、施設の職員の皆様には健康に十分留意して、御活躍くださいますようお願い申し上げます。



桐たんすが置かれた個室



一般公開前に行われた開所式の様子



本間 明 新潟県三条地域
振興局健康福祉課環境部長



金谷國彦県議会議員



安田憲喜市議会議員



小池清彦加茂市長



金澤理久夫加茂福祉会理事長



太田 明 加茂商工会議所会頭

ます。」とあいさつしました。

続いて金澤理久夫加茂福祉会理事長が「全国で高齢化が進む中、加茂市では施設が早め早めに準備されており、市民の安心につながっています。運営者として、プライバシーを配慮し、高齢者介護を提供していきます。」と話されました。

式典では、本間明三条地域振興局健康福祉環境部長、金谷國彦県議会議員、安田憲喜市議会議員、太田明加茂商工会議所会頭から祝辞をいただいたあと、正面玄関前のテープカットで後期工事の完成をお祝いしました。

今回開所した部分は、平成二十一年十二月に開所した部分と同じく、十の個室と生活エリアで一つのユニットになっており、入所者用にこのユニットが四つ（四十人）、ショートステイ用に一つのユニット（十人）、そして第三平成園では新たにつくられたデイサービスセンターとなっています。

式典後の一般公開には、二十二・二十三日の二日間で千四百人余りの方々からおいでいただきました。見学された方からは、ベッドで寝たままの姿勢や車イスのまま

ま入浴できる特殊浴槽や、身体の不自由な方が利用できるようにつくられたトイレなどについて職員に質問する姿が見られました。

今回、開所した特別養護老人ホームには十二月二十七日から入所者の受け入れが始まり、デイサービスセンターは年が明けて一月一日から入所や利用が始まることになっています。



ユニットの居室部分と個室(写真奥の2部屋)



右奥は新しいデイサービスセンターの車寄せ



居住スペースは既設の第三平成園と同じ間取り



車イスまたはベッドのままで入浴できる特殊浴槽



一般公開には市役所からシャトルバスを運行



第三平成園につくられたデイサービスセンター

第65回全日本社会人ボクシング選手権大会 兼 第7回柴田杯 第12回全日本女子ボクシング選手権大会



23日、全日本社会人ボクシング選手権大会（男子）ライトウェルター級決勝のときの市民体育館



女子新潟県代表・高校1年生の江連杏花選手は1回戦判定で惜敗

大会は十二月十九日から二十三日まで、市民体育館で開催されました。十九日は、検診・計量と監督会議が、開会式と一回戦からの競技は二十日から行われました。

男子の全日本社会人ボクシング選手権大会には、十八都道府県から四十七名が、女子の全日本女子ボクシング選手権大会には、二十七都道府県と日本ボクシング連盟推薦の六十名が出場しました。新潟県からは男子が四名、女子は新潟南高校一年の江連杏花選手が出場しました。

この大会は、新潟県内では初めての開催となります。加茂市では、平成二十年十一月に全日本アマチュアボクシング選手権大会、翌年

女子ミドル級では、タレントで「しずちゃん」の愛称の山崎静代選手の日韓親善試合は、会場の八百人を越える観客が声援を送りました。競技期間中に市民体育館へ観戦に来られた人は、延べ約七千二百人にもなりました。

ボクシングの国際試合が加茂市で行われるのは、はじめてのことです。日韓両国の国歌が演奏される中、厳粛に開会のセレモニーが行われました。試合は、日本女子ミドル級第一位の山崎静代選手と韓国ボクシング選手権大会優勝のキ

十月に国体ボクシング競技が開催され、三回目の全国大会開催となります。



開会式では新潟県選手が選手宣誓

日韓親善試合（全日本女子ボクシング選手権大会 ミドル級）



約800人の観衆となった女子ミドル級・日韓親善試合。結果は「しずちゃん」山崎静代選手（青色のユニホーム）の判定勝ちでした。



ム・シンヒョン選手の間で四回戦で行われ、山崎選手の判定勝ちとなりましたが、キム・シンヒョン選手という韓国の第一人者が、快くこの試合を受けてくださり、加茂市へおいでいただいたことは、本当にありがとうございました。光栄なことでした。

「しずちゃん」山崎静代選手の人気は絶大で、このような日本女子ボクシング界の第一人者が加茂市で試合をされたことは、本当にありがとうございました。光栄なことでした。

加茂市のできごと 2013



平成二十五年、2020年のオリンピック東京開催、富士山が世界文化遺産に、和食が世界無形文化遺産となり、日本が世界中から注目される年でした。しかし、食品・食材偽装や、豪雪・台風被害など安全を脅かすニュースも多く報道されました。ここでは加茂市での一年間のできごとをまとめてみました。

若宮公園道路開通 (12月1日)

若宮公園の広場は、市民の憩いの場として、また、グラウンドゴルフの会場や花火の打ち上げ場所として使用されています。公園内道路の開通で若宮町と下条・長福寺が結ばれ、市街地を周回できる環状線が整備されました。

第三平成園 第二期工事完成(12月22日)

第二期工事完成で五十床が増床されると同時に、デイサービスセンターが新たに完成しました。館内は全床個室となっており、プライバシーに配慮された施設になっています。



平成25年 加茂市のできごと

1月1日	元旦マラソン
6日	消防出初式
22日	市議会1月臨時会
24日	新春美術展・いけばな展 (28日)
25日	大島町椿まつり親善訪問 (27日)
2月19日	雪上レクリエーション大会
24日	青少年育成団体連絡協議会結成 40周年記念式典
3月7日	平成25年度当初予算案発表
8日	中学校卒業式
25日	市議会3月定例会(26日)
3月25日	新体操教室演技発表会
10日	第31回民踊まつり
25日	小学校卒業式
27日	加茂市表彰式
4月8日	小・中学校入学式
21日	第47回雪椿まつり大園遊会
24日	市議会4月臨時会
25日	加茂地区就職ガイダンス
29日	粟ヶ岳山開き、市民茶会
3日	大通り春まつり、成人式
5月3日	中学生武道授業演武会
8日	春季消防演習
19日	加茂まつり
21日	市民大学講座(7月15日)
27日	加茂川一斉清掃
6月2日	第14回全国松坂小唄日本一大会
15日	上条まつり
24日	市議会6月定例会(7月3日)
27日	国際交流の集い
7月5日	第12回加茂桐たんす祭(7日)
7日	加茂文化協会創立35周年記念式典
8日	新規高卒予定者求人説明会

加茂市のできごと 2013



新体操KAMO RG発表会（3月10日） 今回、世界選手権代表選手の演技も披露されました。新体操に取り組む子どもたちは、流れるような演技を熱心に見つめていました。



中学生武道授業（10月） 今年も六種目を下条体育センターで実施しました。市内の同学年が一堂に集まり、他校との交流が楽しいという感想も聞けました。



就職説明会（7月8日） 四月には大学生を七月には高校生を対象にした企業説明会を開催しました。業務内容を質問する学生に担当者はていねいに説明していました。



ドッジボール全国準優勝（8月24日） 市内の児童を中心に結成された「KENOHホワイトエンジェルズ」が全国制覇まであと一歩。次は優勝を目指して練習を重ねるそうです。



第12回加茂桐たんす祭り（7月5～7日） 初日に七名の女性から、総桐たんすの製作を体験していただきました。展示された商品には、リビング用にデザインされた桐たんすもありました。



育団連40周年（2月24日） 子ども会などの地区活動をサポートして40年となりました。世代を越えて楽しめる伝統ある地区行事やスポーツ交流を続けています。



第28回越後加茂川夏祭り（8月14日） 恒例となった、桃釣り、大盆踊り、そして二尺玉とナイアガラ花火。県内外から訪れた四万四千の人たちが楽しみました。

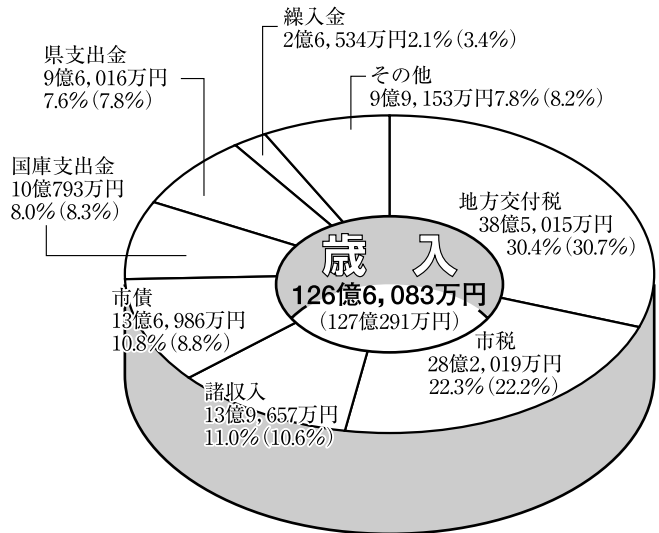


第47回雪椿まつり（4月21日） ミス雪椿に對馬愛子さん、岩澤春菜さん、渡邊かおるさんが選ばれました。期間中、加茂山公園は満開のユキツバキとサクラが楽しめました。

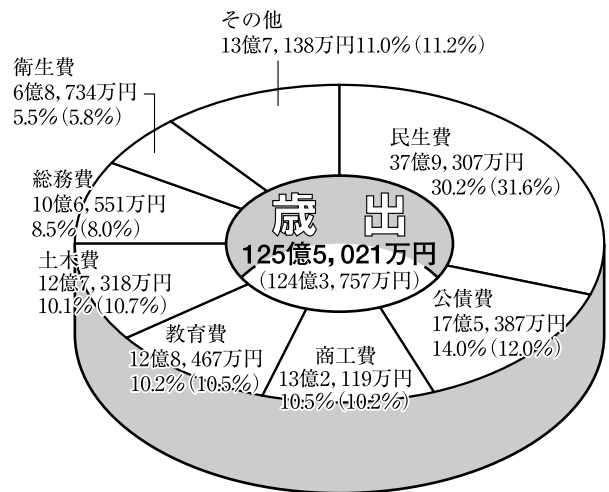
平成24年度決算

平成24年度の決算がまとまり、市議会12月定例会において認定されました。一般会計と特別会計の歳出の合計は211億3,966万円となっています。この内容を表とグラフでご覧ください。

一般会計125億5,021万円



一般会計決算



[グラフ・表の()内は平成23年度のものです]

特別会計決算 (単位:万円)

会計名	歳入合計	歳出合計	差引残額
国民健康保険	30億6,384	32億 913	△1億4,529
後期高齢者医療	2億7,463	2億7,008	455
宅地造成事業	2,365	52	2,313
下水道事業	20億1,630	19億8,564	3,066
介護保険	27億 971	26億5,162	5,809
在宅介護サービス事業	5億4,882	4億7,246	7,636

市税の負担状況 (平成25年3月31日現在の人口 29,858人 世帯数 10,238世帯)

	収入済額	1人当たり	1世帯当たり
市民税	13億 927万円	43,850円	127,883円
固定資産税	11億5,210万円	38,586円	112,532円
軽自動車税	6,575万円	2,202円	6,422円
市たばこ税	1億6,091万円	5,389円	15,717円
入湯税	386万円	129円	377円
都市計画税	1億2,474万円	4,178円	12,184円

市民1人当たりの一般会計歳出額420,330円

民生費	127,037円	土木費	42,641円
教育費	43,026円	商工費	44,249円
公債費	58,740円	衛生費	23,020円
総務費	35,686円	その他	45,931円



性質別経費 (普通会計)

人件費	21億5,755万円	17.9% (17.6%)
物件費	16億9,558万円	14.0% (15.2%)
扶助費	16億8,856万円	14.0% (13.4%)
繰出金	16億 814万円	13.3% (13.1%)
公債費	13億 514万円	10.8% (10.8%)
投資出資など	12億4,421万円	10.3% (9.7%)
補助費など	11億2,667万円	9.3% (10.0%)
建設事業費	8億6,320万円	7.2% (6.9%)
その他	3億9,095万円	3.2% (3.3%)
合計	120億8,000万円	

性質別経費は統計の取り方が異なるため一般会計歳出額とは一致しません。

市債現在高は112億6,578万円为国が全額負担する分を除くと66億235万円となり、これを返済するとき、国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は43億5,401万円となります。

区分	現在高
1 総務債	4億9,792万円
2 民生債	5億3,268万円
3 衛生債	8億 525万円
4 農林水産業債	3億5,395万円
5 商工債	404万円
6 土木債	19億4,093万円
7 消防債	1,601万円
8 教育債	8億4,970万円
9 災害復旧債	3億7,618万円
10 転貸債	841万円
11 減収補てん債	1億5,037万円
12 退職手当債	10億6,691万円
小計	66億 235万円
13 減税補てん債	3億4,314万円
14 臨時税収補てん債	7,236万円
15 臨時財政対策債	42億4,793万円
一般会計総計	112億6,578万円

税に関する作文・標語

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと、作文と標語を募集しました。作文には三百十九点、標語には七百四十四点の応募があり、次の各賞が決まりました。（敬称略）

■作文

【三南地区納税貯蓄組合連合会長賞】

「税金で広がる未来」 児玉みちる（加茂中三）

「スウェーデンのような国を目指して」 坪谷啓冬（葵中一）

「税へ感謝」 高橋早希（若宮中三）

「増税について」 坂上公一（七谷中三）

「お金の価値」 坂井亜美（須田中三）

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

「税の必要性」 鈴木千晶（加茂中三）

「私と税」 増井沙英（葵中一）

「嫌ではあるけれど」 高野友芽（葵中二）

「税の力」 小林 旭（若宮中三）

「将来を考える増税」 坂上瑠菜（七谷中三）

「税金について」 美原一熙（須田中二）

「私と税金と時々未来」 八木美咲（加茂暁星高二）

「身近な税金が学生の原動力に」 渡邊廉太郎（加茂農林高三）

■標語

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

「税金で街を明るく元氣よく」 青木美穂（加茂中一）

「消費税出し合うからこそある未来」 入江 要（加茂中二）

「くにつくり支える力は我らの税」 泉田拓哉（加茂中三）

「納税しみんなのでつくる豊かな町」 有本みのり（葵中一）

「助け合い税でみんなと一継ぎ」 武石眞哉（葵中二）

「おさめれば作れる豊かさ安全さ」 梅田朱音（葵中三）

「税金で笑顔花咲くわたし達」 近藤彩乃（若宮中一）

「税金は日本を動かすエネルギー」 柝沢万由子（若宮中二）

「国民の暮らしを守るは税の力」 三星美彩希（若宮中三）

「税金で誰もが住みよい町づくり」 小林李名（七谷中一）

「税金がみんなの笑顔つくります」 小野凌央（七谷中二）

「快適な暮らしのために納税に」 波塚 潤（七谷中三）

「税金でみんなの夢をかなえよう」 片小田小春（須田中一）

「みんなの町あつめた税でほらきれいな」 萱森莉奈（須田中二）

「税金を生かせ明日の幸せに」 栗山南々帆（須田中三）

総体結果



体操競技

期 日 十二月七・八日

会 場 体操トレーニングセンター

【個人総合】

▼小学男子（タンブリング・円馬・とび箱・鉄棒・柔軟）①北澤寛太（加茂小）②小柳晴矢（須田小）③平岡達典（井栗小）▼小学女子（とび箱・単バー・平均台・タンブリング・柔軟）①吉田妃那（加茂南小）②横山夢華（加茂南小）③外山史（羽生田小）▼中学以上男子（ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒・柔軟）①佐藤脩平（加茂高）②北見将一（若宮中）③保倉秀翔（下条小）▼中学

以上女子（跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか・柔軟）①五十嵐紗衣（若宮中）②茂野月音（加茂中）③佐野美妃（加茂小）

【特別種目】

かべ倒立▼男子①保倉秀翔②青柳勇舞（石川小）③北見優行（加茂南小）▼女子①吉田妃那②茂野天泉（加茂中）③五十嵐紗衣

倒立歩行▼男子①北見将一②保倉秀翔③石附宏太（新津第二小）▼女子①清水郁花（附属長岡中）②佐野美妃②茂野月音

会長賞（最優秀選手）

▼北澤寛太（加茂小）

▼五十嵐紗衣（若宮中）

三票賞（最優秀新人）

▼吉田妃那（加茂南小）

▼保倉秀翔（下条小）

25年度上半期の財政状況

平成二十五年度上半期（四月～九月）の財政状況です。市の収入と支出で表をご覧ください。

平成二十五年度当初予算額は百三十二億六千九百万円ですが、その後、緊急雇用創出事業費、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金事業などの増額補正を行いました。その結果、九月末の予算額は、百三十四億千五百七十万円となりました。

各特別会計の執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	33億1,693	12億4,018	14億5,736
後期高齢者医療	2億8,092	1億 194	1億 294
宅地造成事業	3億5,006	2,527	201
下水道事業	20億8,204	6億6,083	7億4,842
介護保険	27億7,931	13億1,838	11億1,943
在宅介護サービス事業	5億3,670	2億6,713	2億4,074
合計	93億4,596	36億1,373	36億7,090

市税の収入状況

税目	調定額	収入済額	収納率
市民税	12億6,409	6億1,237	48.4%
固定資産税	14億3,322	6億4,942	45.3%
軽自動車税	7,300	6,583	90.2%
市たばこ税	8,951	8,951	100%
入湯税	226	226	100%
特別土地保有税	54	0	0.0%
都市計画税	1億5,332	6,912	45.1%
合計	30億1,594	14億8,851	49.4%

一般会計予算総額 142億2,854万円

(9月末現在)

一般会計予算の状況

歳入	科目	予算額	収入済額	収入割合
	地方交付税	39億3,300	25億4,555	64.7%
	諸収入	29億9,404	6,155	2.1%
	市税	28億2,665	8,851	52.7%
	市債	12億2,640	0	0.0%
	国庫支出金	12億2,264	3億8,530	31.5%
	県支出金	7億8,927	1億4,688	18.6%
	地方消費税交付金	3億	1億4,776	49.3%
	その他	9億3,654	3億3,512	35.8%
	合計	142億2,854	51億1,067	35.9%

歳出	科目	予算額	支出済額	支出割合
	民生費	38億7,214	16億5,233	42.7%
	商工費	27億7,356	9億7,305	35.1%
	土木費	15億9,445	7億 895	44.5%
	教育費	15億5,143	5億8,030	37.4%
	公債費	15億3,904	6億4,927	42.2%
	総務費	9億6,381	3億5,258	36.6%
	衛生費	7億4,097	3億3,683	45.5%
	その他	11億9,314	4億7,994	40.2%
	合計	142億2,854	57億3,325	40.3%

(各表は、9月末現在・単位：万円)

上条新町の町場

屋敷取替証文から

やしきとりかえしうもん

上条新町は元禄三年（一六九〇）

に町割りが行われ町場となった上条村の新町である。町並みは加茂町と連続していた、現在の五番町から東側（上流側）の往来に面した町場である。元禄十一年頃の加茂組を現した絵図に、新町の上条大橋辺りに「十町五拾五間加茂下町木戸まで」と、加茂町と上条新町を含めた町場の長さが、約一・二キロメートルとほぼ現在と変わらない長さで記されている。

上条新町の町割りは、往来道に面して両側に実施されたが間口が狭く奥行き長い短冊型の町屋敷が出来あがった。文政期（一八一八〜三〇）

加茂の風土記

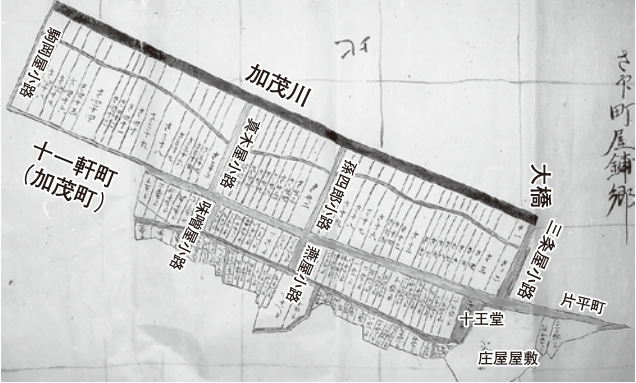
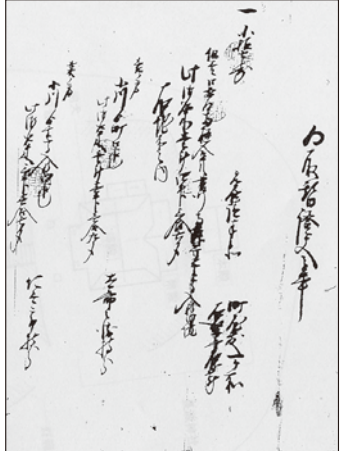
の史料では、両側で八十四軒分の短冊型の屋敷地が続いており、間口は往来に面し、三間半〜四間半であった。この町屋敷に商人を中心とした人たちが住み、商売をしていた。ここで天保十年（一八三九）の町屋敷の取替

証文をみてみよう（『加茂市史』資料編二）。これは元の所有者が年貢

の納入に困り、町屋敷を仁太郎と交換する証文である。一般にみられる土地証文であるが、上条新町の町場の特徴を示している。それは上条新町にも関わらず、加茂町問屋給や商人役、町見回り大儀料・火防入用などを町屋敷所有者から屋敷間口に応じて年々納入していたことである。後者の町見回り大儀料・火防入用は上条新町に関わる諸費であるが、前者の加茂町問屋給・商人役は商人の住む町場であったことを表わす負担であった。

問屋給は加茂町に設置されていた荷継ぎを取り扱う問屋に支給するもので新町からも加茂町並みに負担していたことを示している。また商人役は町場で商売する者たちが江戸時代はじめから納めていた負担で、加茂町から米四石四三升一合を年々領主に納めていた。そのうちの八斗七升五合余は上条新町から納められていた。

新町は、七谷への出入口で、紙や



上条新町図(左)と天保十年新町屋敷取替証文の書き出し(右)と商人役などを記した部分(中)。

元結・薪炭などの商売があり、商人たちの住む町場として加茂町を席捲する繁栄をみることになる。

関 正平

あいちとっ

社会福祉費寄付金

▼JA七谷かあちゃん市から 一万円

▼加茂テモテ・ルーテル幼稚園から 二万三千六百四十八円

ふるさと寄付金

▼笠原順一さん（東京都）から 二十万円

市内小中学校、保育園、幼稚園へ

▼小柳建設株式会社から 図書カード二十七万円分（各校・園に一万円分の図書カードをお届けしました）

人口のうごき

12月1日現在	
世帯	10,266 (-10)
人口	29,673 (-36)
男	14,345 (-9)
女	15,328 (-27)
()内は前月比	
(11月異動分)	
出生	11 (男 5 女 6)
死亡	31 (男 9 女 22)
転出	46
転入	30